

# 平成28年度 まちなみウォッチング NEWS

編集・発行 相模原市 街づくり支援課  
〒252-5277 相模原市中央区中央2-11-15  
☎ 042-769-9252  
✉ machidukuri@city.sagamihara.kanagawa.jp

『相模原の歴史をめぐる』ピフォーアフター  
～原野から現在まで、わずか60年でまちなみはどう変わったか～

## 1. はじめに

このまちなみウォッチングは、良好な景観形成を進めるため、その担い手である市民の皆様、景観は共有財産であることを改めて考えていただくきっかけ作りとして行うものです。

市民の皆様が、自分たちの住むまちを観察し、景観資源を知り、親しみを持ってもらうとともに、景観づくりの意識の醸成を図ることを目的としています。

今回は神奈川県建築士事務所協会相模原支部と共催し、新たな切り口で景観資源を視察しました。

## 2. 開催日時

第1回:11月11日(金)・第2回:11月18日(金)  
各日とも午前9時～午後4時半

## 3. 参加人数

第1回:17名(1名欠席)・第2回:18名  
たくさんのご応募ありがとうございました。応募数は定員の2倍を超えました

## 4. 行程

市内全域の多様な景観を感じられるよう、全12か所を選定しました。本市が所有する古写真等の資料に基づき、一級建築士の説明を受けながら視察しました。

### 視察 橋本駅

橋本駅北口では、昭和44年頃の写真(左)と比較し、ロータリーを商店が囲む形式から、ペDESTリアンデッキを備える駅ビルへと、年代毎に大きく変化する駅前空間について観察しました。平成39年にはリニア新幹線の新駅開業に伴い周辺も変化する予定です。



### 視察 相模原駅

相模原駅は、昭和16年開業以来使われていた木造駅舎から平成8年にペDESTリアンデッキを備えた駅ビルへと大きく変化しました。軍施設や軍が計画した幅員の広い道路が近接しており、軍都相模原を実感できる場所でもあります。



### 視察 淵野辺駅

JR横浜線開通時に開業した駅の一つであり、駅前のロータリーは現在も使用されています。現行の車両では狭くなってしまったカーブや駅前商店街のアーケード、電線地中化による景観の変化について観察しました。



### 視察 こもれびの森(車窓)

相模原近郊緑地保全地区(特別保全地区)は「こもれびの森」として親しまれています。雑木林には適切な管理が必要であること、地盤の特徴など建築士ならではの説明を受けました。

### 視察 相模大野駅

市内中心商業地の一つである相模大野駅周辺は平成25年に再開発によるbono 相模大野が開業し、ほかにも大型商業施設の多い地区です。近接する商店街やビューポイントを見学しました。



## 視察 相武台団地



昭和40年代の人口急増に伴い、市内各地で団地が建設されました。相武台団地は昭和43年に建設、第二団地と合わせて1150戸が入居しました。現在高齢化に伴い、住宅団地型既存住宅流通促進モデル事業が採択されました。この事業では商店街空区

画を活用したコミュニティサロンの住民運営などが取り組まれています。団地内や商店を歩きながら、植栽や住棟間隔など当初計画された住環境が現在では実現が難しいほど豊かであることや住民活動がまちなみを形づくる要素であることについて説明を受けました。

## 視察 相模原麻溝台公園(車窓)

昭和60年に開園したこの公園は隣接する県立公園も含めると23.8ヘクタールと広大で、豊かな緑に恵まれています。各日ともに紅葉シーズンのもっとも良い景色を楽しむことができました。

## 視察 昭和橋(車窓)

昭和橋は昭和6年に完成し、平成4年に改修されました。周辺の様々な構造の橋梁や昭和橋が繋ぐ大山河の歴史などの説明を受けながら相模川を渡りました。

## 視察 上溝(車窓)



古写真(左)と見比べながら上溝を通過しました。まちなみは木造から鉄骨造や鉄筋コンクリ

ート造へと変わったものの、交通量は変わらず多く、車窓からでもゆっくりと観察することができました。

## 視察 津久井湖

津久井湖では短い休憩を取りました。城山ダムの人造湖である津久井湖は、市街地とはまた異なった自然の地形と紅葉を楽しむことができます。塀や生垣など、まちなみの違いにも目を向けながら移動しました。



## 視察 小原宿(本陣とまちなみ)



小原宿本陣は江戸末期の本陣建築として県内に唯一残る貴重な文化財建造物です。まちなみ景観としても親しまれ、重要であることから市は景観重要建造物へ

指定しています。また、甲州街道沿いには明治時代の建物が残り、宿場町のまちなみを今に伝えています。短時間でしたが、初めて訪れた方もいっしょにいました。近代的な建物の多い市街地とのまちなみの比較ができたのではないのでしょうか。

## 視察 道志橋



現在使用されている道志橋を川辺まで下りて視察しました。津久井地区の地形と橋梁がおりなす景観もまた、相模原市の特徴の一つで

す。古い橋脚が川岸に残っていて、地域の交通の変遷を感じることができます。(当日は見ることができませんでした。)

## 5. 参加者の感想

ご協力いただいたアンケートでは、視察先のうちで良い景観だったもの、市内の良好な景観と景観を阻害しているもの、景観まちづくりに求めるものなどを伺いました。

- 【視察先 BEST3】 小原宿 相武台団地 道志橋  
【市内の景観 BEST3】 山並みの自然風景 湖などの水辺風景  
こもれびの森を中心とした市街地の緑  
【阻害要因 WORST3】 けばけばしい屋外広告物 街中にある電柱や電線 奇抜な建物の色  
【その他全体ご意見(抜粋)】  
・いつもの行動エリアですが解説付きでまたいつもとちがった見方ができました。  
・注目するものによって、もの見方や考え方がいろいろな方向から知る事が出来るのだと実感しました。  
・季節的にも年2回に分けて実施してほしい。

## 6. あとがき

今回は視察箇所が多い企画でした。第1回は小雨で寒くなりましたが、両日ともけがもなく、ぎっしり詰め込んだ説明もご満足いただけたようでした。相模原市内の景観は多彩で、同時に課題も様々です。アンケート、現地でもいただいた意見を反映させながら、これからも景観まちづくりを発展させていく所存です。今後も、ご協力よろしく願います。(街づくり支援課)

今回の企画にあたり、相模原に眠る街の資源を掘り起こしてみました。実際に現地をまわってみるとそこにしかない新しい発見もたくさん出会いました。また、参加された皆様もいろいろな出会いと気づきがあり相模原への愛着が増したのではないのでしょうか。次回もまた「観るべきポイント」をしっかりと押さえた楽しい企画にしたいと思います。(一般社団法人神奈川県建築士事務所協会相模原支部)